

# 映画を監督編



## 0. 構想する

映画を見たり、演劇を見たり、撮影に参加したりして刺激やモチベーションを得つつ、自分の作りたい物語を構想しましょう(まじ自分のやりたいことならなんでもいい)。特に同期の人の撮影なんかは自分も監督をしてみたいと思うきっかけになりやすいので積極的に参加しましょう。また自主製作映画なのでそこまでクオリティのハードルを上げすぎず、まずはとってみようという感じでやってみてほしいです。

## 1. 企画書を作る

作りたい映画の企画書を作ります。この時意識するのは物語の背骨となる部分(たとえば物語の構造だったり、主人公のキャラクターだったり、ジンバル使いたくってみたいとか、近所の公園いい感じだからロケ地にしてみたいとか)と今足りていない人材やスキルの確認(脚本は任せたいな〜とか、その逆に脚本やるけど監督やってほしいとか)。助け合って作っていきましょう。ここまでは基本的に個人の作業ですが理想としてはこの時点で何人かに声をかけておき、構想を話して仲間を作っておくといいと思います。

## 2. 企画書をディスコードで提出する

ディスコードの企画書提出チャンネルで企画書を提出します。それと同時にこの映画のチャンネルを作りましょう。興味のあるひとはそこに入ってくれます。

## 3. チームを作る

ある程度の人が集まったらアンケートやスピカ名鑑をつかってチームの役職や参加できそうな頻度を確認しましょう。おそらく最初の段階では足りない人材がでてくるとおもうので、それをまずは明らかにした後、直接声をかけたり、人材募集チャンネルで告知してみましょう。(特に俳優は例年人数が少なく不足がちなので外部の人に頼るのもあります。ただそれなりのリスクやデメリットはあるので注意しましょう。よく使われるサイトはシネプラです(cinepu.com)。晴れてチームが集まったら実際に作品を作っていく段階に入ります。

注意:あくまでここで紹介している方法は一例で、手探りで映画を作らなければならないという状況を回避するためのものなので最初から手探りだったり、最初はこれで次は別の方法でとか何でも自由です。

## 4. 制作準備

3で作ったチームで協力して準備します。最低限準備すべきは・脚本・撮影フォーマットです。脚本がない映画もないことはないと思いますがそうでもない限り次に進む前にいったんの完成稿を作りましょう。また撮影フォーマットは画面の縦横比やもろもろの設定です。これも適宜変えていくやり方もありますが基本の設定は決めておいたほうがいいと思います。ほかにやれることとしては、ロケハン、撮影スケジュールの作成、ロケ地の手配、小道具の作成、衣装決定、絵コンテ、役作りなどがあります。いずれも撮影しながら考えることは可能ですができるだけ前もって準備しましょう。ポイントは全部ひとりでやってしまうのではなく人を頼ってやっていくことです。

## 5. 撮影

準備が終わったらついに撮影です。まずやることは役者の人とのスケジュール調整です。日程を確定させたら機材の確保を行います。機材予約システムを使いましょう。そのあとチャンネルで撮影の数日前に告知を行い撮影の裏方を募ります。人数がどうしても足りないということがあったら知り合いに声をかけてください。実際当日になったら撮影をしていきます。最もハプニングが起きやすいタイミングなので様々な注意点があります。特に気にしたいのは天気とゲリラ撮影の事故です。前者はどうしようもないので予備日を確保しておくことや余裕のあるスケジュールリングでしのぎましょう。後者は近隣の住民とのトラブルや自転車、自動車事故が想定されます。近隣住民のほうはもう仕方がないことなのである程度言いなりになってやり過ごしましょう。運がなかったとおもって素直に引き下がったほうがいいと思います。事故のほうは乗る側だった場合は細心の注意を払うしかないと思います。よく考えて行動しましょう。またゲリラの注意として、照明を絶対に車や自転車に向けないようにしましょう。来た時は照明を必ず下げてください。

## 6. 編集

撮影が順調に終わり素材がとりおえたついに編集です。便宜上5と分けていますが本当は素材の不足を確認するためにも各シーンで素材がそろい次第で編集していったほうがいいと思います。編集はいろいろなやり方があって人によってこだわるポイントも違うので各自で自分なりの編集スタイルを見つけていくといいと思います。なのでほぼ注意する点はないのですが、スピカの機材を借りて撮影を行ったら映像の最初か最後にスピカの素材を挿入してください。あとはかかわってくれた人をエンドロールに記載するのも忘れないようにしてください。

## 7. 提出・打ち上げ

編集も終え作品は完成させたと思いますがあともう少しです。まずは上映会と打ち上げをぜひ行ってください。回の自分の作品に関わってもらうためにも、自分が手伝っていくためにも、感謝を伝えるためにも行ってほしいです。打ち上げについてはおごる必要はないです。お金に余裕があれば端数出してあげたりしてもいいと思います。またいろいろなコンペや駒場祭、五月祭への提出もぜひお願いします。せっかく撮った作品を仲間内だけでしまっておくのは大変もったいないです。特に直近の駒場祭或いは五月祭には出してほしいです。

